# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

資料６

基本目標１　皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり

## 施策１　健康づくりの推進

## 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

### 1　特定健康診査の受診率（受診者数÷対象者数）（単位：％）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 31.3 | 30.7 | 35.7 | 34.0 | 34.1 | **34.6** | | 34.0 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 民間事業者に委託し、ナッジ理論を活用した通知を作成し、受診勧奨を図った。 |
| 課題 | 目標値は達成しているものの、引き続き受診率の向上を図る。 |
| R7-R8 取組予定 | 不定期受診者や未受診者に対して、勧奨通知を送付し、更なる受診率の向上を図る。 |
| 取組効果 | 健診未受診者に受診勧奨したことにより、国民健康保険加入者の生活習慣病の早期発見、早期治療につなげることができた。 |

### 2　がん検診の受診率（受信者数÷対象者数）（単位：％）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 25.0 | 23.5 | 25.1 | 24.9 | 26.1 | **25.9** | | 33.0 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 令和４年末に町内医療機関が１機関閉院した影響により受診率が低下したことから、令和５年度以降は受診しやすい体制を整備するため、集団検診については休日の実施回数を増やすとともに、子宮・乳がん検診の担当に女性医師を配置し、受診率向上を図った。 |
| 課題 | 職域で受信する場合が多く、町で実施するがん検診は、受信者が固定化している。 |
| R7-R8 取組予定 | 現在実施している受診率向上施策を継続するとともに、受診しやすい体制として、以前からWEB予約の希望が多いことから、令和７年度に試験導入、令和８年度から本格導入を行う。 |
| 取組効果 | がんの早期発見を図ることにより、早期治療につなげた。 |

### 3　温水プールの年間利用者数（単位：人）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 13,032 | 9,525 | 14,834 | 14,817 | 16,024 | **16,284** | | 27,000 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 各種健康教室や出張健康測定会の参加者に対し、温水プールに係るチラシを配布するなど利用者拡大を図った。 |
| 課題 | 利用者が固定化していることから、コロナ禍以前に利用していた人の呼び戻しや新規利用者の掘り起こしが必要である。 |
| R7-R8 取組予定 | 各種講座等と連携して自身の健康への動機付けを行い、健康づくりの手段のひとつとしてプール利用を促進する。 |
| 取組効果 | 健康づくりの場を提供することで、運動習慣の獲得及び健康への関心の高揚に寄与した。 |

その他

1

**健康づくり関係団体との共催イベント数（単位：件）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 49 | 8 | 29 | 31 | 37 | 33 | | |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 健康づくり推進委員、食育サポートメイト六彩会、箱根元気会等の団体とともに、各種健康教室や健康福祉フェスティバルなどを実施した。 |
| 課題 | 各種委員や団体の構成員の高齢化が進んでいることから、団体の体制維持が課題である。 |
| R7-R8<br>取組予定 | コロナ禍で減少した健康づくり関係団体との共催イベント数を増やし、健康・食育はこね21（第２次）後期計画を推進していく。 |
| 取組効果 | 関係団体との協働により、充実したイベントを実施し、町民の健康づくりに寄与した。 |

2

**食育サポートメイト養成数（食育サポートメイト養成講座の修了者数）（単位：人）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | | |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 食育サポートメイトを養成することにより地域における食生活改善及び食育の推進をはじめ、組織的な活動の推進を図る。 |
| 課題 | 食育サポートメイトの高齢化が進んでいることから、食育サポートメイトの養成数を増やし、団体の体制を維持できるような対策が必要がある。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 広報や回覧「まちだより」、町のホームページ、SNS等の周知により養成数の確保に努める。また、食育サポートメイト六彩会の活動や魅力等について積極的に情報発信を行う。 |
| 取組効果 | 協働して各種教室等を実施することで、幅広い世代の町民が参加し、生活習慣病予防や健康意識の向上に寄与した。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標１　皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり

## 施策２　子育て支援の充実

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

#### 1　認定こども園・保育所待機児童数（単位：人）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | **0** | | 0 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 認定こども園、保育園の環境を整備し、保育ニーズに応じた保育サービスの充実に努め、待機児童ゼロを維持している。 |
| 課題 | ０～１歳児の保育ニーズが増加傾向にあることから、引き続き待機を出さないように保育者の確保等に努め、待機児童ゼロを継続していく。 |
| R7-R8 取組予定 | 引き続き積極的な採用活動を通じて保育者の確保に努めていく。 |
| 取組効果 | 認定こども園、保育所へ保育を必要とする児を待機なく受入れできたことで、保護者が仕事と家庭等のバランスを取りながら生活できる環境の整備に寄与できた。 |

#### 2　放課後児童クラブ待機児童数（単位：人）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | **0** | | 0 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | Ｒ６開設のすぎのこクラブ（箱根幼稚園施設内）を加え、町内４カ所で放課後児童クラブを運営し、保護者の就労や小学生の健全な育成を図った。 |
| 課題 | 利用者のニーズに合わせて、運営内容を見直していく必要がある。 |
| R7-R8 取組予定 | 民間委託を通じて、引き続き質の向上と安定的な運営を図る。 |
| 取組効果 | 放課後児童クラブの運営により、働きながら子育てができる環境を提供し、小学生の健全な育成に繋げている。 |

#### 3　乳幼児健康診査受診率（単位：％）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 94.4 | 87.9 | 92.2 | 101.6 | 100.6 | **100.8** | | 100 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 毎月集団検診を実施すると共に、対象者への受診勧奨に努めた。 |
| 課題 | 近年増加する外国人に対しても、確実に受診勧奨を行う必要がある。 |
| R7-R8 取組予定 | 乳幼児健康診査の受診率は、対象者の一時帰国や転出等で受診率の変動があるが、引き続き集団健診を毎月行い受診勧奨に努め、受診率100％を維持する。 |
| 取組効果 | 乳幼児の着実な受診につなげ、こどもの健康増進と子育ての支援に寄与できた。 |

| | | |
|---|---|---|
| 目標指標 | 4 | 子育て支援講座参加者数（単位：人） |

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6 | 0 | 23 | 27 | 16 | 32 | | 30 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 広報、HPの他、健診時の周知や園・学校を通じての周知に努めた他、WEBから参加申込ができるようにするなど、参加者数の増につなげる取組を進めた。 |
| 課題 | ニーズに即した講座内容を検討するほか、参加者に合わせた日時等を検討する必要がある。 |
| R7-R8 取組予定 | 引き続き参加者数の増につながるよう、開催内容や実施方法について検討していく。 |
| 取組効果 | 子育て支援講座の開催により、子育て世帯の支援や育児の充実を図ることができた。 |

| | | |
|---|---|---|
| 目標指標 | 5 | 放課後子ども教室参加児童数（単位：人） |

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 28 | 22 | 28 | 27 | 55 | 50 | | 30 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 算数の「基礎的・基本的な知識や技能の習得および活用力の向上を目指す」ことを目的に、湯本小学校全児童を対象とした「ゆもと楽習塾」を継続して実施したほか、様々な体験活動等を通してコミュニケーション能力や生きる力の向上を図ることを目的に、箱根地域の児童を対象とした「はこね放課後子どもチャレンジ塾」を令和５年９月から新たに開設した。 |
| 課題 | 「ゆもと楽習塾」については、開設当初は指導者が４名であったが、現在は２名であることから指導者不足が課題である。 |
| R7-R8 取組予定 | 引き続き、継続してそれぞれの教室を開催するとともに、「箱根町こども計画」において、放課後子ども教室の設置箇所を令和９年度以降「３箇所」としていることから、設置場所や内容について調査研究するもの。 |
| 取組効果 | 放課後の子どもの居場所づくりを提供したほか、指導者との多世代交流を通じた社会教育環境の形成が図られた。 |

| | | |
|---|---|---|
| その他 | 1 | シェアコンシェルジュ登録人数（単位：人） |

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0 | 0 | 0 | 9 | 4 | 31 | | |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 地域に積極的に出向き、イベント参加者に声をかけるなど、子育ての担い手となるシェアコンシェルジュの発掘・育成に努めました。 |
| 課題 | 登録者は増加したが、主体的に活動しているシェアコンシェルジュは少ないため、育成する必要がある。 |
| R7-R8 取組予定 | 引き続き登録人数の増に努めるほか、主体的に活動できるシェアコンシェルジュの育成を進める。 |
| 取組効果 | 子育て世帯の交流と相互の助け合いの機会を創出することで、安心して子育てができる環境づくりを進めることができた。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標１　皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり

## 施策３　地域福祉の充実

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

1

**ボランティア団体数**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10 | 10 | 10 | 10 | 9 | 9 | | 12 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | ボランティアセンターの運営を支援するため、町社会福祉協議会へ補助金を支出した。また、各種ボランティア関係のチラシの配布に協力した。 |
| 課題 | ボランティアの高齢化が進んでおり、担い手の継続が課題である。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 引き続き町社会福祉協議会との連携によるボランティアセンターの運営支援を行う。 |
| 取組効果 | ボランティアの活性化により、地域福祉の担い手づくりや福祉コミュニティの形成に寄与している。 |

2

**住民交流会（サロン）設置地域数（単位：団体）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | | 5 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 町社会福祉協議会や町民生委員児童委員協議会と連携し、サロン活動の推進が図れるよう支援を行った。 |
| 課題 | 高齢者の移動手段の確保が難しくサロン活動参加に躊躇すること。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 町社会福祉協議会や町民生委員児童委員協議会と連携し、サロン活動の推進が図れるよう引き続き支援していく。 |
| 取組効果 | 地域に合った交流活動の推進、町民の地域交流・異世代交流への参加 |

**住民交流会（サロン）設置団体数（単位：団体）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | | 12 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 町社会福祉協議会や町民生委員児童委員協議会と連携し、サロン活動の推進が図れるよう支援を行った。 |
| 課題 | サロン活動の設置場所の確保 |
| R7-R8<br>取組予定 | 引き続き、町社会福祉協議会や町民生委員児童委員協議会と連携し、サロン活動の推進が図れるよう支援していく。 |
| 取組効果 | 地域に合った交流活動の推進、町民の地域交流・異世代交流への参加 |

| その他 | 1 | 民生委員・児童委員の充足率（年度末現員数／定員数*100）（単位：%） |
|---|---|---|

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 97.7 | 97.7 | 97.7 | 100.0 | 100.0 | 97.7 | | |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 推薦母体である自治会と協力して適任者を探した。 |
| 課題 | 高齢化に伴い、各地域において後任の推薦が難しくなってきている。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 自治会や現任の民生委員児童委員と協力して人材確保に取り組む。 |
| 取組効果 | 民生委員児童委員の活動支援を行い、地域福祉体制の構築に寄与した。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標１　皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり

## 施策４　高齢者福祉の充実

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

#### 1　ひとり暮らし老人緊急通報システム事業の設置世帯数（単位：世帯）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 35 | 35 | 33 | 31 | 30 | 30 | | 50 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 委託先の地域包括支援センターと町内の介護施設ケアマネージャーに高齢者宅に訪問の際に緊急通報システムの周知を依頼し、利用者の増加に努めた。 |
| 課題 | 見守りを必要とする高齢者の抽出 |
| R7-R8 取組予定 | 引き続き、外部団体と連携するほか、高齢者向けの広報等で周知を図る。 |
| 取組効果 | 住み慣れた地域で安心して生活し続ける。 |

#### 2　長寿健康診査の受診率（単位：%）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 36.6 | 38.1 | 32.7 | 36.0 | 34.8 | 35.6 | | 40 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 人間ドック補助を開始するほか、検診ガイドを受診券に同封するなど、受診率の向上に努めた。 |
| 課題 | 後期高齢者（75歳以上）についても、生活習慣病の発症予防、早期発見のため、町外にかかりつけ医を持つ者に、町内医療機関での健診受診をどう促すかが課題となっている。 |
| R7-R8 取組予定 | インセンティブ付与や人間ドック補助について、引き続き、周知広報し、受診率向上に努める。 |
| 取組効果 | 人間ドック補助などを通じて、受診率向上につなげた結果、高齢者の健康維持に寄与した。 |

#### 3　配食サービス事業の年間延べ配食数（単位：食）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5,996 | 5,393 | 4,903 | 4,875 | 3,827 | 4,331 | | 6,300 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 委託先の地域包括支援センターに高齢者宅に訪問の際に配食サービスの周知を依頼し、利用者の増加に努めた。 |
| 課題 | 今後も高齢者が増加する中では、高齢者の見守りや栄養改善を必要とする方も増えるため、継続していく必要があると考えている。<br>また、町内に対応可能業者がなく近隣でも少数なため、委託先を探すことが困難な状況であるもの。 |
| R7-R8 取組予定 | 引続き、食事の調理が困難なひとり暮らし老人等の自宅に食事を提供することにより、健康の保持と食の自立を促し併せて、孤独感の解消及び健康状態の確認を図る。 |
| 取組効果 | ひとり暮らし老人・高齢者夫婦世帯に、食生活の改善・寝たきり予防としてサービスを提供することで、高齢者の栄養改善と見守りを行い高齢者の健康と安全の向上に寄与した。 |

| 目標指標 | 4 | 老人クラブの会員数（単位：人） |
|---|---|---|

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 593 | 493 | 436 | 395 | 369 | 349 | | 565 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 老人クラブへの加入促進のため、広報で周知を行うほか、敬老会では老人クラブ連合会会長より老人クラブの取り組みについて参加者へ周知した。 |
| 課題 | コロナ禍に比べ、会員数の減少は落ち着いてきたが年々減少している。理由として、加入できる年齢に到達しても就労している高齢者が大半であり、余暇活動となる老人クラブの活動まで時間が取れないことが考えられる。また、会員の多くが80歳以上と高齢であり、入院や施設入所、死亡に伴い退会されるケースも増えている現状である。引き続き、加入促進に向けて周知を行うとともに、今後のあり方を模索する必要がある。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 引き続き、老人クラブ会員募集を広報等で周知を行い加入促進していきます。 |
| 取組効果 | 会員数は減ってはいるものの、新規での入会希望もあり、取組が高齢者福祉の充実につながっている。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標１　皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり

## 施策５　障がい者福祉の充実

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

#### 1　在宅障がい児の機能訓練会等への参加者数（年間延べ人数）（単位：人）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 218 | 132 | 178 | 205 | 152 | 129 | | 230 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 町内に居住する心身の発達に遅れのある児童又はその疑いのある児童に対し、専門スタッフによる機能訓練等を毎月行った。また町ホームページや広報等での周知や、関係部署・関係機関と連携し、対象となる児童に機能訓練会等への参加を促した。 |
| 課題 | 保護者の同行が難しいことや、感染症の流行で人数制限を設けていたこと等により、対象となる児童の参加が難しい場合がある。 |
| R7-R8 取組予定 | 機能訓練会の開催方法や開催場所の拡大を検討・実施し、対象児童がより参加しやすい環境を調整していく。 |
| 取組効果 | 関係機関と連携を図りながら機能訓練会への参加を呼びかけ、専門的な支援が必要な児童には障がい福祉サービスにつなげることができた。 |

#### 2　訪問系サービス利用者数（人／月）（単位：人）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10 | 13 | 13 | 8 | 10 | 10 | | 13 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 新たに障害福祉サービスを利用する方へ、希望に応じた案内を引き続き行った。 |
| 課題 | 新規利用者もいるが、転出等で利用しなくなった方もいることから、利用者数の増加につながっていない。 |
| R7-R8 取組予定 | 新たに障害福祉サービスを利用する方へ、希望に応じた案内を引き続き行う。 |
| 取組効果 | 目標達成のため、障害福祉サービスのほか介護サービスと併用する方がいた場合に、サービスの利用に向けて担当係と調整を行った。障がい者の自立に寄与した。 |

#### 3　施設入所者数（単位：人）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 17 | 16 | 15 | 13 | 12 | 10 | | 15 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 他のサービスを利用している障がい者のうち、施設入所を希望する方を把握し、希望に応じた案内を行った。 |
| 課題 | 県の方針として、施設入所者の地域生活移行を進めるための支援の充実を図ることとしているが、入所者の地域移行が進んでいない。 |
| R7-R8 取組予定 | 他のサービスを利用している障がい者のうち、施設入所を希望する方を把握し、希望に応じた案内を引き続き行う。 |
| 取組効果 | 障がい者の地域生活移行に向けた取り組みを把握するため、事業所の連絡会などに出席し実際のケースについて把握、内部で共有を行った。入所者及び家族等の安心した暮らしにつなげることができた。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標１　皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり

## 施策６　社会保障の充実

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

#### 1　国民健康保険料の収納率（単位：%）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 80.9 | 81.5 | 85.2 | 86.9 | 86.4 | **88.0** | | 83.0 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 口座振替の推奨やコンビニ納付の周知を行うなど、新規未納者を増やさないよう注力した。 |
| 課題 | 短期証発行時の折衝は滞納整理の有効な手段の一つであったが、マイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴い、短期証が廃止され、特別療養費の支給へ変更となることから、電話催告の回数や催告書の発行を増やすなど、他の折衝方法を充実させる必要がある。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 口座振替勧奨や税務課と連携した滞納処分等の取組みを継続しつつ、電話催告や催告書発行の回数を増やし、更なる収納率の向上を図る。また、預金調査システム「pipitLINQ」の新規導入に伴い、効率的に財産調査を実施する。 |
| 取組効果 | 収納率の向上により、国民健康保険財政の安定化に寄与できた。 |

#### 2　高齢者の健康相談件数（単位：件）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 166 | 505 | 781 | 55 | 30 | **390** | | 309 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 老人福祉センターやまなみ荘で、月１回健康相談を実施するだけでなく、電話や訪問等で健康相談を実施した。 |
| 課題 | やまなみ荘での相談については、来られる方はほぼ同じであり、新規の方が少ない。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 電話や訪問等で、健康相談を引き続き実施していく。 |
| 取組効果 | 健康相談を受けることで、医療・福祉関係機関につなぐことができ、高齢者の健康維持に寄与した。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標１　皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり

## 施策７　ワーク・ライフ・バランスの実現

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

#### 1　認定こども園・保育所待機児童数（再掲）（単位：人）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 認定こども園、保育園の環境を整備し、保育ニーズに応じた保育サービスの充実に努め、待機児童ゼロを達成することができました。 |
| 課題 | ０～１歳児の保育ニーズが増加傾向にあることから、引き続き待機を出さないように保育者の確保等に努め、待機児童ゼロを継続しています。 |
| R7-R8 取組予定 | 引き続き積極的な採用活動を通じて保育者の確保に努めていきます。 |
| 取組効果 | 認定こども園、保育所へ保育を必要とする児を待機なく受入れできたことで、保護者が仕事と家庭等のバランスを取りながら生活できる環境の整備ができました。 |

#### 2　子育て支援講座参加者数（再掲）（単位：人）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6 | 0 | 23 | 27 | 16 | 32 | | 30 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 広報、HPの他、健診時の周知や園・学校を通じての周知に努めた他、WEBから参加申込ができるようにするなど、参加者数の増につなげる取組を進めました。 |
| 課題 | 上記取組を進めた結果、目標を達成することができました。 |
| R7-R8 取組予定 | 引き続き参加者数の増につながるよう、開催内容や実施方法について検討していきます。 |
| 取組効果 | 子育て支援講座の開催により、子育て世帯の支援や育児の充実を図ることができました。 |

#### 3　男女共同参画講演会満足度（アンケート）（単位：%）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| - | - | - | 100 | 100 | 100 | | 80 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 講演会については、性別や年齢を問わず、町民が身近に感じ、興味を持ちそうなテーマを選定した。 |
| 課題 | 30～40代の働く世代の参加率が低いことが課題である。 |
| R7-R8 取組予定 | 公式LINEや町内団体を通じて、働く世代への周知を強化し、引き続き、町民の興味関心に合わせたテーマ設定を行う。 |
| 取組効果 | 普段、男女共同参画に触れる機会が少ない層に対して、男女共同参画を自分事と捉えてもらう機会となった。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標２　未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり

## 施策８　学校教育の充実

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

**1　町内小・中学校児童・生徒の地域行事への参加率（単位：%）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 75.8 | コロナにより未実施 | 65.0 | 65.5 | 70.9 | 75.8 | | 80.0 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 箱根を愛する「ハコネビト」の育成を掲げ、地域教育として扱う授業を「はこねタイム」と呼び、郷土箱根を意識した学習を適切に位置付けて、地域への関心が高まるようにした。 |
| 課題 | 児童・生徒数の減少により、子ども会の活動にも影響がある。 |
| R7-R8 取組予定 | はこねタイム推進プロジェクトが中心になり取り組んでいる「はこね検定」を継続して行い、これまで以上に地域のよさを感じられるように工夫をしていく。 |
| 取組効果 | 地域のことを知り、関心をもつきっかけとなった。 |

**2　町内小・中学校児童・生徒の読書量が1日30分以上の割合（単位：%）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 62.6 | コロナにより未実施 | 32.5 | 35.3 | 29.7 | 33.4 | | 70.0 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 各学校で読書週間、朝読書、図書ボランティアによる読み聞かせなどに取り組んだ。 |
| 課題 | 児童・生徒の読書量は、目標値との乖離が大きい状況であり、児童・生徒が読書週間を身に付けるためには、学校だけではなく、家庭の協力も必要である。 |
| R7-R8 取組予定 | 読書活動は箱根教育の４つの柱の１つである「知育」の取組項目であり、引き続き実施していく。 |
| 取組効果 | 読書を好きだと感じている児童・生徒の割合は低くはないので、取組の一定の効果があると考える。 |

**3　それぞれの子どもが持っている自尊感情（自分が大切な存在であると感じること）の度合い（単位：%）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 65.0 | 67.0 | 68.3 | 68.4 | 74.6 | 76.9 | | 70.0 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 「非認知能力の育成」ということを念頭に置いて、子供たちの発達の段階に応じて意図的・系統的に編み込んだ「箱根ハートフルプログラム」を幼児期から中学校卒業までの12年間で実施。 |
| 課題 | 少人数に対応するために「箱根ハートフルプログラム」の内容や実施形態の工夫を行う必要がある。 |
| R7-R8 取組予定 | 「箱根ハートフルプログラム」の取組に加えて道徳の授業や他の教科や特別活動など学校教育全体を通じて育てていく。 |
| 取組効果 | 心の教育である「箱根ハートフルプログラム」に幼児期から中学校卒業までの12年間の発達段階に応じて取り組んできたことで、子どもたちのより良い成長につなげることができた。 |

| その他 | 1 | 英語検定受験料の補助人数（単位：人） |
|---|---|---|

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 79 | 101 | 109 | 96 | 70 | 52 | | |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 英語検定の受験料を全額補助だけでなく、英語検定合格対策講座の実施や箱根中学校生徒へ星槎箱根キャンパスでの受験機会の提供を行った。 |
| 課題 | 特になし |
| R7-R8<br>取組予定 | 引き続き、現状の取組を継続していく。 |
| 取組効果 | 児童・生徒の英語力向上の醸成を図るほか、教育機会の充実に寄与した。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標２　未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり

## 施策９　生涯学習の推進

## 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

### 1　全公民館の年間利用者数（単位：人）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 25,120 | 14,469 | 20,029 | 24,649 | 24,170 | **24,551** | | 15,000 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 定期利用団体の活動支援、各種講座・教室等を実施したほか、町民文化祭等各種イベントを開催した。 |
| 課題 | 魅力ある新たな講座やイベントの企画立案、指導者の後継者不足が課題である。 |
| R7-R8 取組予定 | 魅力ある新たな講座やイベントの企画立案を検討するとともに、定期利用団体の活動支援、各種講座・教室等の実施や町民文化祭等各種イベントを継続して開催する。 |
| 取組効果 | 各種講座やイベントを開催することにより、参加者の学習意欲の向上が図られている。 |

### 2　町民一人当たりの図書貸出冊数（単位：冊）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1.89 | 1.62 | 2.04 | 1.94 | 1.90 | **1.69** | | 2.00 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 貸出実績や利用者からのリクエストのほか、書店等のベストセラー情報を参考に利用者の要望を選書に反映させ、図書資料の充実を図った。また、移動図書館の巡回で全域サービスに努めた。 |
| 課題 | 少子高齢化の影響が大きく、利用者数が減少していることが課題である。 |
| R7-R8 取組予定 | 新規利用者開拓のため、ブックスタートや社会教育センターだより等を活用して、保護者への働きかけを強化する。また、本の入替や除籍を継続的に行い、魅力ある蔵書構成を目指す。 |
| 取組効果 | 読書によって人生をより豊かなものとしていけるように、図書館サービスの浸透・充実を図った。 |

### 3　自治学習出張講座の利用件数（単位：件）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | 2 | 2 | 3 | 2 | **4** | | 5 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 例年申請がある湯本小学校の「PTA親子活動」によるニュースポーツ体験や、函嶺白百合学園中学校の「わらじ作りと旧街道を歩く」の講座を開催するとともに、令和６年度は箱根小涌園が従業員を対象に同旅館の歴史や小涌谷の近代開発について理解を深めるための講座「箱根の歴史を訪ねて」を開催したほか、箱根町歩く会の６月定例会時に地域理解として「箱根旧街道と石畳」の講座を開催した。 |
| 課題 | 講座内容の見直しが図られていないため、利用団体が固定化していることが課題である。 |
| R7-R8 取組予定 | 令和６年度末に各課へ講座内容の見直し等を依頼したため、令和７年度中に見直しを行い、広く町民に周知を図る。 |
| 取組効果 | 町職員が講師となり町政や専門知識を活かした実習等を行うことにより、町民の町政に対する理解を深めるとともに、意識啓発が図られている。 |

| 目標指標 | 4 | 生涯学習フェスティバル登録行事数（単位：回） | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
| | | 3 | 5 | 1 | 2 | 2 | 5 | | 5 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 生涯学習フェスティバル月間に合せて、文化・芸術・スポーツ活動に関連した事業を通じて、町民の多世代交流の場を提供し、生涯学習の意識の高揚を図った。 |
| 課題 | 特になし |
| R7-R8<br>取組予定 | 例年開催している各種イベントに加えて、令和７年度に箱根で初めて開催される本格的なオペラコンサート（Opera in 箱根）を、生涯学習フェスティバル事業登録行事として支援する。 |
| 取組効果 | 文化・芸術活動の振興と地域の活性化に寄与する。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標２　未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり

## 施策10　文化・芸術活動の推進

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標　1

**町民文化祭の参加人数（単位：人）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 527 | 428 | 471 | 475 | 540 | 687 | | 550 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 作品展示や舞台発表（音楽のつどい・ステージコーナー）、お茶席などを実施し、町民の文化活動の発表の場を提供し、文化・芸術意識の高揚を図った。 |
| 課題 | 人口減少に伴い、一般申込者数が減少していることが課題である。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 引き続き作品展示や舞台発表（音楽のつどい・ステージコーナー）、お茶席などを実施し、町民の文化活動の発表の場を提供する。併せて箱根にゆかりのある芸術家や、人口が増加している外国籍の町民などへ文化祭の参加を促していく。 |
| 取組効果 | 来場者数は各団体の周知や呼び込みにより増加した。多くの来場者に自分の作品や発表を見ていただくことで、文化活動の継続の意欲が高まるものと考える。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標２　未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり

## 施策11　家庭教育の充実

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

#### 1　家庭教育講座参加者数（単位：人）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 77 | 0 | 0 | 57 | 74 | 89 | | 80 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 家庭教育力の向上を目指し、保護者に学びの場の提供や子育て支援を目的に、各学校・PTAと連携を図り「家庭教育講座」を実施し、研修機会の提供に取り組んだ。 |
| 課題 | 年度当初に各学校に対し、家庭教育講座の本来の目的である「子育てに関する様々な課題解決の一助とする講座」を実施することを説明しているが、研修の目的と実施している内容が乖離している場合がある。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 本来の研修の目的である「子育てに関する様々な課題解決の一助となること」を基本に、各学校やＰＴＡから学校区ごとに捉えている児童・生徒、家庭における課題などを聴き取りを行ったうえで、教育委員会が課題等に見合った研修内容を提示したり、講師の手配をしたりするなど、これまで以上に関りをもって、研修機会の提供に取り組んでいく。 |
| 取組効果 | 保護者に学びの場を提供することにより、家庭教育力の向上が図られた。 |

#### 2　幼保小中学校での家庭教育に関する取組数（単位：件）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 34 | 0 | 0 | 0 | 4 | 4 | | 12 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 家庭教育力の向上を目指し、保護者に学びの場の提供や子育て支援を目的に、各学校・PTAと連携を図り「家庭教育講座」を実施し、研修機会の提供に取り組んだ。 |
| 課題 | 各学校においては「家庭教育推進事業」により予算計上しているが、幼保は予算計上していないため単独での研修会開催が難しい状況である。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 家庭教育推進事業に予算計上を検討するほか、各学校おいて実施する家庭教育講座に幼保の保護者が参加できるような体制づくりを検討する。 |
| 取組効果 | 保護者に学びの場を提供することにより、家庭教育力の向上が図られた。 |

#### 3　広報等での家庭教育啓発記事数単位：件）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | | 6 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 各学校及び幼保、教育相談センター職員が「広報はこね」へ家庭教育に関するコラムを掲載し、コラムを通じて親と地域へ学びの場を提供したことにより、町の社会教育施策として家庭教育力の向上と支援を図った。 |
| 課題 | 啓発方法が「広報はこね」のみであることから、他の媒体により広く周知する方法を検討する必要がある。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 「広報はこね」のコラム以外に長期休業前などに児童・生徒がいる家庭に対して「規則正しい生活習慣を確立するための支援」のチラシ等の配付について検討する。 |
| 取組効果 | 保護者に学びの場を提供することにより、家庭教育力の向上が図られた。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標２　未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり

## 施策12　青少年の健全育成

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標　1

**青少年関係事業への児童・生徒の参加率（単位：%）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20.0 | 0.0 | 0.0 | 23.3 | 16.0 | **18.0** | | 20.0 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 町青少年指導員連絡協議会では、青少年の健全育成について協議するとともに、体験活動として令和５年度に小学校５・６年生及び中学生を対象とした「箱根町再発見ツアー」を開催したほか、令和６年度では小中学生及び保護者を対象とした「冬の箱根～星空鑑賞会～」を開催したもの。 |
| 課題 | 令和５・６年度は行事開催数が年1回に留まっていることから、行事の開催数を増やすことや対象となる小中学生が魅力を感じる行事の企画立案が必要である。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 児童・生徒が魅力を感じる行事について検討するほか、行事開催数を年間２回程度となるよう町青少年指導員連絡協議会と調整する。 |
| 取組効果 | レクリエーション等の体験活動を通じて、指導者との多世代交流の促進が図られるほか、自主性や社会性の向上を促進した。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標２ 未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり

## 施策13 文化財の保護と活用

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

1

**箱根関所入館者数（単位：人）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 280,017 | 116,900 | 127,024 | 198,174 | 226,172 | **223,691** | | 400,000 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 官民一体となった取組みを図るとともに、箱根関所では通常観覧では感じることのできない学びや楽しむ要素を取り入れた取組みを展開した。（ワークショップ「紙の刀をつくろう」の開催（R5～）、ガイドツアーの充実（不定期開催→R5～毎週土曜日開催）、関所商店街との協働によるスタンプラリーの開催など） |
| 課題 | 箱根関所ではホームページなどSNSによる情報発信の拡充や学校団体や教育旅行を企画する旅行業者へのアプローチ、週末や長期休暇などでは様々なイベントを開催するなど事業を展開しているが、観覧者数の増加には結びついていない。 |
| R7-R8 取組予定 | 箱根関所に何を求めているのか改めて把握するとともに、ターゲット層を設定し、そのターゲット層を意識した独自性のある企画を創出する。また箱根関所単体ではなく、地域事業者との連携を図りつつ、地域にある文化財や連携する他の施設、観光資源を結び付けた、観光客に新たな発見や楽しみ方を提供し、且つ地域の回遊性を高める事業展開を検討していく。 |
| 取組効果 | コロナ禍による社会生活の変容や現在の国内における物価高騰によって、旅行需要が減少している状況にある。このため、この先の将来を見通すことは難しいところはあるものの、様々な要因を踏まえて、改めて目標値を設定する必要もあると考えている。 |

2

**郷土資料館入館者数（単位：人）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6,992 | 3,193 | 4,359 | 4,276 | 5,136 | **4,919** | | 10,000 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 箱根の歴史や文化への理解を深めてもらうため、町民のみならず観光客を対象とした展示や体験を含めた教育普及事業を実施した。また、町内の学校団体等と連携を深めた出張学習等を実施し、郷土の文化を知るきっかけ作りも図った。 |
| 課題 | 郷土資料館の外部への情報発信が不足しているため認知度が低い。また日本人のみならず外国人も含め、観光という観点から発展してきた箱根であるが、展示内容等に多言語化が不足している。且つ、訪れる人が資料館に求めているニーズの把握ができていない。 |
| R7-R8 取組予定 | 展示解説に多言語化を図るとともに、資料館に求めるニーズを把握するため、入館者に対しアンケート調査を実施することで、展示内容等を改変していくこととする。 |
| 取組効果 | 展示や体験を含めた教育普及事業を実施することによって、箱根の文化や歴史に触れることで、郷土愛を育むことにつながる。 |

3

**文化財ボランティア数（延活動人数）（単位：人）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 54 | 0 | 0 | 8 | 8 | **59** | | 100 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 仙石原湿原植物群落の植生回復に向けた継続的な取組み（ヨシ刈り・開花状況調査）や箱根旧街道杉並木、元箱根石仏群など国指定の重要な史跡を観光資源として活用するための環境整備（除草作業）を実施した。 |
| 課題 | 史跡等の定期的、長期的な維持管理には多くの人の協力が不可欠となる。このため、各種媒体により情報発信に努め募集を図るがボランティア活動に携わる人数の拡充を図ることができない。 |
| R7-R8 取組予定 | 民間の任意団体と行政（県・町など）が連携を深め、文化財施設やハイキングコースなどの環境整備について、定期的、長期的に維持管理が図られるよう体制づくりを構築していく。なお、この取組みによって文化財ボランティア加入者の拡充を図る。 |
| 取組効果 | 箱根の貴重な文化財等を学ぶ、親しむことによって、将来にわたり文化財を保存していくことの機運の醸成につながる。 |

目標指標

4

**郷土資料館所蔵資料の利用点数（単位：点）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 48 | 27 | 50 | 139 | 85 | 37 | | 100 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 郷土資料館の所蔵資料については、企画展における実物展示や書籍発行などに活用しているが、資料は箱根の文化歴史を示す重要な資料であり、またこれをウェブ公開することで、非来館者向けのサービスを実現することによって、箱根の歴史や文化の情報発信を図り、また歴史文化発信拠点として郷土資料館の設置意義を高めることにつなげた。 |
| 課題 | 特記事項なし |
| R7-R8<br>取組予定 | 引き続き資料の収集、整理を図りウェブ上での公開を進めていく。 |
| 取組効果 | 館蔵資料の活用促進を図ることによって郷土資料館の設置意義を高めることにつながる。 |

5

箱根関所学校利用プログラム利用件数（単位：件）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 96 | 43 | 51 | 67 | 87 | 82 | | 150 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 学校団体の利用促進のため、首都圏域（神奈川県、千葉県、茨城県、埼玉県、山梨県、静岡県）の公立全小学校（約3,200校）に対し、関所利用のメリットを付した資料等を送付した。 |
| 課題 | プログラム利用は学校側の時間的制約、指向、学校の考え方等に左右されることから、学校のニーズの洗い出しが必要と考える。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 学校の学習活動の場として箱根関所利用の促進を引き続き図っていく。特に修学旅行での利用が多い埼玉県、千葉県、茨城県の小学校に重点を置き、箱根関所で学ぶ、楽しむ要素を丁寧に発信することで、利用件数の増加に取り組んでいく。 |
| 取組効果 | 学校団体受入れにおいて、関所では複数のプログラムが用意されていることを周知することが大切であり、学校団体の利用が継続していることが成果と考える。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標２　未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり

## 施策14　スポーツ活動の推進

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

#### 1　箱根路森林浴ウォーク町民参加者数（単位：人）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 63 | 0 | 0 | 24 | 28 | 28 | | 150 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 町民をはじめとした多くの方が「参加してみたい・参加してよかった」というイベントにするため、従来の森林浴ウォークに加え、令和６年度から新たな取り組みとして、ゴール会場において地元企業によるブースやキッチンカーが出店したほか、ニュースポーツの体験会を実施するなどして、ウォーキングとマルシェを融合した形で展開した。 |
| 課題 | 森林浴ウォークに参加することにより新たな発見や体験が得られるなど、参加したいと思えるような魅力ある企画立案が必要である。 |
| R7-R8 取組予定 | ウォーキングとマルシェを融合した形を軸に、複数のコース設定や親子参加型の企画等を検討する。 |
| 取組効果 | 箱根の自然や歴史、ジオサイトの魅力などを堪能しながら、心と身体の健康づくりを促進した。 |

#### 2　箱根町総合体育館の稼働率（単位：％）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 40.5 | 37.1 | 26.3 | 34.0 | 38.6 | 35.6 | | 50.0 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 町主催大会（ニュースポーツ大会・ソフトバレーボール大会）のほか、体育協会主催行事（はこねスポーツまつり）や箱根町子ども会育成団体連絡協議会主催行事（レクリエーション大会）を実施することにより、稼働率の向上を図ったもの。 |
| 課題 | 指定管理者による自主事業や広報活動が稼働率向上に寄与していると考えられるため、引き続き指定管理者と協議しながら、稼働率向上を図る方策を検討する必要がある。 |
| R7-R8 取組予定 | 引き続き町主催大会等を総合体育館で開催するほか、稼働率向上に寄与する事業等を指定管理者と協議する。 |
| 取組効果 | 総合体育館の稼働率が向上することにより、周辺地域の活性化が図られる。また、町民の利用が増えることにより、健康増進やスポーツの振興が図られた。 |

#### 3　スポーツ教室・大会等開催回数（単位：回）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | 0 | 0 | 1 | 3 | 2 | | 5 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 町主催大会として、ニュースポーツ大会・グラウンドゴルフ大会・ソフトバレーボール大会を開催した。令和６年度については、グラウンドゴルフ大会が雨天により中止となったもの。 |
| 課題 | コロナ禍により停滞していた事業が再開したものの、新たにスポーツ教室を開催することや町主催大会を増やすまでに至っていない。 |
| R7-R8 取組予定 | 引き続き町主催大会を開催するとともに、スポーツ教室や大会の開催数について検討する。 |
| 取組効果 | スポーツイベントを通じた多世代交流の促進や健康増進が図られた。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標２　未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり

## 施策15　男女共同参画・人権尊重の推進

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

**1　男女共同参画講演会満足度（アンケート）（再掲）（単位：%）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| - | - | - | 100 | 100 | **100** | | 80 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 講演会については、性別や年齢を問わず、町民が身近に感じ、興味を持ちそうなテーマを選定した。 |
| 課題 | 30～40代の働く世代の参加率が低いこと。 |
| R7-R8 取組予定 | 公式LINEや町内団体を通じて、働く世代への周知を強化し、引き続き、町民の興味関心に合わせたテーマ設定を行う。 |
| 取組効果 | 普段、男女共同参画に触れる機会が少ない層に対して、男女共同参画を自分事と捉えてもらう機会となった。 |

**2　審議会等における女性委員の割合（単位：%）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20.5 | 22.1 | 22.9 | 20.5 | 23.9 | **22.8** | | 30.0 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 各課所管の会議での委員改選の機会には、各団体などに女性の委員推薦するよう依頼した。 |
| 課題 | 委員推薦依頼先に女性が少ないことや充て職で推薦される人が決まっている等の理由で、女性委員の増に苦慮している。 |
| R7-R8 取組予定 | 引き続き、各課に対して、女性比率向上のの重要性について啓発を行う。 |
| 取組効果 | 審議会等への女性参画率を上げることで、政策や方針の立案、意思決定過程に男女双方の意見を反映させることに寄与した。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標２　未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり

## 施策16　多文化交流の実現

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

1

**ホストタウン相手国との交流回数（単位：回）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | | 1 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 毎年度、窓口となる星槎グループと調整し、令和４年度はホストタウン相手国であるエリトリアの留学生と園児との交流会を実施した。 |
| 課題 | 交流に関しては、窓口が星槎グループのみであり、令和５年度以降、星槎グループの教育施設に留学生がおらず、交流ができていない。また、オリンピック選手との交流も実現困難となっている。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 引き続き、星槎グループ（星槎大学箱根キャンパス）と連携していく。 |
| 取組効果 | エリトリアの留学生と園児が親睦を深めるだけでなく、互いの国の文化等を知るきっかけとなった。 |

2

**姉妹都市・友好都市との訪問団派遣・受入回数（単位：回）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 2 | | 1 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 姉妹都市カナダ・ジャスパー訪問団受入及び姉妹都市提携50周年記念式典を実施するほか、友好都市提携10周年を記念してスイス・サンモリッツを訪問した。 |
| 課題 | 定期的な交流を図る方法を検討する必要がある。 |
| R7-R8<br>取組予定 | タウポへの訪問を行う。 |
| 取組効果 | 周年行事を実施することにより姉妹都市・友好都市等との交流を積極的に実施し、異文化体験をとおして双方の友好関係の向上につなげることができた。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標３　誰もが住みたくなる、より良い生活環境のまちづくり

## 施策17　道路・交通網の充実

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

1

**町道１６路線の整備エリアの整備率（単位：m）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3,106 | 3,380 | 3,764 | 4,448 | 5,177 | **5,786** | | 6,400 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 安全・安心な道路環境の整備を実施した。 |
| 課題 | 国庫補助金など特別財源の確保が課題である。 |
| R7-R8 取組予定 | 引き続き、計画通り実施する。 |
| 取組効果 | 安全・安心な道路空間確保が図れた。 |

**町道１６路線の整備エリアの整備率（単位：%）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 48.5 | 52.8 | 58.8 | 69.5 | 80.1 | **90.4** | | 100.0 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 安全・安心な道路環境の整備を実施した。 |
| 課題 | 国庫補助金など特別財源の確保が課題である。 |
| R7-R8 取組予定 | 引き続き、計画通り実施する。 |
| 取組効果 | 安全・安心な道路空間確保が図れた。 |

2

**橋りょう保全改修率（単位：m）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5 | 6 | 6 | 6 | 6 | **6** | | 9 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 橋りょう点検の結果に基づき、長寿命化対策が必要な橋りょうについて整備を行った。 |
| 課題 | 国庫補助金など特別財源の確保が課題である。 |
| R7-R8 取組予定 | 引き続き長寿命化が必要な橋りょうの整備を実施する。 |
| 取組効果 | 橋りょうのライフサイクルコスト縮減につなげたほか、安全・安心な通行空間の確保が図れた。 |

| 目標指標 | 2 | 橋りょう保全改修率（単位：%） |
|---|---|---|

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 55.6 | 66.7 | 66.7 | 66.7 | 66.7 | **66.7** | | 100.0 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 橋りょう点検の結果に基づき、長寿命化対策が必要な橋りょうについて整備を行った。 |
| 課題 | 国庫補助金など特別財源の確保が課題である。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 引き続き長寿命化が必要な橋りょうの整備を実施する。 |
| 取組効果 | 橋りょうのライフサイクルコスト縮減につなげたほか、安全・安心な通行空間の確保が図れた。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標３　誰もが住みたくなる、より良い生活環境のまちづくり

## 施策18　住環境の整備

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

#### 1　空き家バンク登録件数（累計）（単位：件）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 54 | 58 | 61 | 73 | 82 | 94 | | 100 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 民間団体に業務を委託したことにより、官民連携による、きめ細かい相談体制を確立した。また固定資産税納税通知書にカラーチラシを同封するなど、空き家バンク制度の周知を図った。 |
| 課題 | 空き物件の所有者からの相談が減ってきており、空き家の掘り起こしが必要である。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 引き続き、民間団体と連携して空き家の掘り起こし等を進めるほか、先進事例のある事業者とも連携し、新たな取り組みを進める予定である。 |
| 取組効果 | 空き家を減らすことに加え、定住や起業のために空き家のマッチングを行うことで、地域活性化、人口増加に効果が出ている。 |

#### 2　お試し居住・体験者からの移住件数（単位：件）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | 4 | 5 | 5 | 7 | 10 | | 20 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | お試し居住滞在中は、体験者のニーズに合ったプログラムを実施するほか、体験後も空き物件の紹介等アフターフォローを行うなど、体験者に親身に寄り添った事業を行った。 |
| 課題 | 体験者で移住を希望している者も多いが、移住するための空き物件が少なく、移住に結びついていない。 |
| R7-R8<br>取組予定 | これまでの体験者のフォローを行うとともに、体験者に提供できる空き物件の掘り起こしを進める。 |
| 取組効果 | 移住による人口増につながっており、町の最重要課題である人口減少対策に効果がある。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標３　誰もが住みたくなる、より良い生活環境のまちづくり

## 施策19　生活環境の整備

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

#### 1　花いっぱい運動参加団体数（単位：団体）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 23 | 23 | 26 | 28 | 28 | 29 | | 25 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 登録について問い合わせがあった際は、丁寧に説明し参加団体への登録に繋げた。 |
| 課題 | 特になし |
| R7-R8 取組予定 | 現在の花いっぱい登録団体数を維持するよう努める。 |
| 取組効果 | 花いっぱい運動については、毎年4回花いっぱい参加団体に花苗を配付し、主要道路沿線を中心に季節ごとの花を植えることで、1年を通して町内の環境美化を図ることができた。 |

#### 2　美化清掃参加団体数（単位：団体）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 30 | 29 | 32 | 28 | 32 | 32 | | 35 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 美化清掃参加団体が年３回の美化清掃を実施できるようにごみ袋や清掃用品等を購入して配付するなどの支援をした。 |
| 課題 | 清掃参加団体の構成員の高齢化が課題である。 |
| R7-R8 取組予定 | 美化清掃団体が快適に美化清掃をできるようにバックアップする。 |
| 取組効果 | 年３回の美化清掃に取り組むことで、1年を通して町内の環境美化を図ることができた。 |

#### 3　不法投棄パトロール回数（単位：回）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 25 | 23 | 31 | 33 | 31 | 35 | | 30 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 会計年度任用職員を雇用して、不法投棄パトロールが定期的に継続してできるように努めた。 |
| 課題 | 夏季は植物が繁茂しており、不法投棄の発見及びパトロール活動に支障をきたしている。反復、継続して不法投棄が発生する箇所があることから、効果的な防止対策が必要である。 |
| R7-R8 取組予定 | 不法投棄パトロール回数を達成できるよう計画的に実施する。反復。継続する不法投棄発生箇所について、防止策を検討する。 |
| 取組効果 | 町内がゴミの少ない状況を保持し、より良い生活環境をつくることができた。 |

| 目標指標 | 4 | 有害野生鳥獣（猪）捕獲数（３か年平均）（単位：頭） |
|---|---|---|

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 73 | 71 | 73 | 59 | 44 | 41 | | 70 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 猪に加えて、近年ニホンジカの増加により生態系等に大きな影響を及ぼしていることから、ニホンジカの捕獲の強化を図った。 |
| 課題 | ニホンジカの被害、捕獲数が増加している。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 引き続き、ニホンジカやイノシシ等の捕獲等を行い、有害鳥獣による生活被害及び農作物被害等の防止を図る。 |
| 取組効果 | 有害野生鳥獣の捕獲により、有害野生鳥獣による被害を軽減し、生態系と生活環境の保全につながった。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標３　誰もが住みたくなる、より良い生活環境のまちづくり

## 施策20　上下水道の整備

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

#### 1　水道事業における有収水量率（単位：%）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 84.9 | 84.1 | 83.9 | 84.1 | 84.0 | **83.4** | | 85.9 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 老朽化した配水管等の更新を行った。<br>R4：395.4m、R5：300m、R6：147m（R7繰越、同完成） |
| 課題 | コロナ禍においては純損失となり、経営上管路更新事業を抑制した。その後も建設改良費の事業費規模は減少を続けており、管路更新率も低下傾向である。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 老朽化した配水管等について、最も効果的な成果が得られるように改修施設を選定しながら、継続的に更新を行う。<br>R7：200m、R8：未定 |
| 取組効果 | 水道水の安定した供給に効果があった。 |

#### 2　第１号公共下水道整備率（単位：%）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 89.8 | 90.4 | 90.5 | 90.5 | 90.5 | **90.6** | | 98.6 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 未整備地区の管路整備を行った。<br>R4:139m・0.45ha　R5：120.0m・1.53ha　R6：102.0m・0.42ha |
| 課題 | 令和6年度の下水道経営戦略の見直し結果を基に、料金改定を視野に入れて下水道整備の投資に対する費用効果の検証及び下水道事業区域の見直し等の検討を行う必要がある。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 公共下水道未整備地区の整備を投資に対する費用効果が得られるよう考慮し、管路整備を継続的に行う。　R8：150m |
| 取組効果 | 未供用地区の管路整備を行い、生活環境の利便性と快適性を向上し、自然環境の保全を図ることが出来た。 |

#### 3　第２号公共下水道整備率（単位：%）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 78.7 | 78.9 | 78.9 | 78.9 | 78.9 | **79.0** | | 88.6 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 未整備地区の管路整備を行った。<br>R4：管路整備無し　R5：120.5m・1.17ha　R6：管路整備無し |
| 課題 | 公共下水道未整備地区の整備を投資に対する費用効果が得られるよう考慮し、管路整備を継続的に行う。　R7：125m、R8：150m |
| R7-R8<br>取組予定 | 公共下水道未整備地区の整備を投資に対する費用効果が得られるよう考慮し、管路整備を継続的に行う。　R7：125m、R8：150m |
| 取組効果 | 未供用地区の管路整備を行い、生活環境の利便性と快適性を向上し、自然環境を保全することが出来た。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標３　誰もが住みたくなる、より良い生活環境のまちづくり

## 施策21　地域交通の利便性の確保

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標　1

**パークアンドサイクルの年間利用件数（単位：件）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4,466 | 3,708 | 3,237 | 4,874 | 5,917 | **6,554** | | 4,500 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | パークアンドサイクルは芦ノ湖畔を訪れる観光客の移動手段として定着し、目標利用件数を達成できた。また新たにシェアサイクルに取り組む事業者を支援した。 |
| 課題 | 自転車のメンテナンスや保険加入等の手続きを各貸出拠点施設で個別に行っており、統一が図られていない等の懸念事項がある。 |
| R7-R8<br>取組予定 | パークアンドサイクルについて周知を図り、利用増進に繋げる。 |
| 取組効果 | 自然環境への負荷軽減や新たな観光資源としての役割を果たした。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標４　環境にやさしく、安全・安心なまちづくり

## 施策22　循環型社会の形成

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

**1　ごみの資源化率（単位：%）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5.8 | 6.7 | 5.9 | 5.4 | 5.5 | **5.7** | | 12.0 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 広報でごみの分別方法について、周知した。また、食品ロスの実態把握のため、ごみの種類組成分析調査を実施し、食品ロス削減の周知を行った（R5調査、R6広報で周知）。 |
| 課題 | 焼却残渣（灰）の最終処分の方法が埋め立てのため、ごみの資源化率が伸びない。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 広報でごみの分別方法について周知するとともに剪定枝等ストックヤードの整備を行う。 |
| 取組効果 | ごみの分別方法を広報で定期的に周知したことから、資源化できるごみの分別が図られた。 |

**2　ごみの焼却処理量（単位：トン）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 13,956 | 10,828 | 11,118 | 12,199 | 12,434 | **12,632** | | 13,100 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 広報でごみの分別徹底の普及啓発を行う。家庭用及び事業用生ごみ処理機器購入費補助を実施した（R4は3件、R5は9件、R6は6件）。 |
| 課題 | 事業系ごみが７割を占めているので、事業者の協力が必要となる。コロナ禍の影響により観光客数が減少した影響で、ごみ排出量の減少したが、今後観光客数が回復するとごみ量が増加する。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 広報でごみの分別徹底の普及啓発を行う。家庭用及び事業用生ごみ処理機器購入費補助を実施する。 |
| 取組効果 | ごみを適正に分別することで、ごみの焼却処理量を減らすことができた。また、生ごみ処理機器の導入によりごみの減量化を図ることができた。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標４　環境にやさしく、安全・安心なまちづくり

## 施策23　自然環境の保全

## 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

### 1　資源保全基金の年間寄付金額（単位：千円）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4,799 | 2,683 | 2,062 | 4,150 | 4,666 | 4,188 | | 6,000 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 新たに募金箱を設置し、寄付額の増加を図った。 |
| 課題 | ・基金を取り崩す事業が多く、基金残高が年々減少<br>・新規寄付事業者等の獲得が進んでいない |
| R7-R8 取組予定 | 募金の実施やシンボルマークの利用促進を継続するほか、トラストの認知度向上や新規賛同者の増加を図るために、町の自然保護活動・基金の活用事例の周知方法や新たな寄付方法の検討を進める |
| 取組効果 | 資源保全基金の活用により、各種事業が実施されており、自然環境の保護に寄与している。 |

### 2　豊かな森林づくり（水源かん養）の実施面積（実施町有地の延面積）（単位：ha）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 145 | 176 | 212 | 249 | 279 | 338 | | 499 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 町内５箇所の町有林の整備に加え２箇所の私有林整備の施業代行、また県森林組合連合会への長期施業受委託の実施など計画的に取り組んだ。<br>針広混交林の造成を目標に、令和3年度に植栽した箇所の下刈を継続的に実施した。またシカによる食害被害が確認されたことを受け、仙石原財産区では植栽保護柵を設置し、被害箇所には補植を行った。蛸川財産区では下刈・地拵・植栽に加え、樹幹保護ネットを設置し、食害防止対策を強化した。 |
| 課題 | 整備協定が令和10年度に終了するため、協定満了までに財産区が費用をかけずに、良好な森林環境を維持できる状態で返還できるよう整備を進める必要がある。 |
| R7-R8 取組予定 | 引き続き、第４期計画に基づき事業を実施していく。<br>植生保護柵の設置及び林分調査を実施し、間伐実施のための林分状況を把握するほか、間伐を実施し、森林の光環境改善と針広混交林への誘導を促進していく。 |
| 取組効果 | 第４期計画に則り着々と遂行することで、本町の水源涵養機能の向上につなげることができた。<br>土壌保全、水源涵養機能の向上に寄与することができた。 |

### 3　間伐材搬出促進事業に係る搬出実施面積（累計）（単位：ha）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 86 | 93 | 99 | 106 | 112 | 117 | | 104 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 前年度間伐を実施した町有林のうち３か所において間伐材の搬出を行った。 |
| 課題 | 間伐材の買取価格が低下している一方で、搬出に係る経費が増加していることから町負担額が増加傾向にある。 |
| R7-R8 取組予定 | 前年度間伐を実施した町有林のうち３か所にて間伐材の搬出を行う。 |
| 取組効果 | 適切な間伐を行うことにより、森林の持つ公益的機能の向上に寄与することができた。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標４　環境にやさしく、安全・安心なまちづくり

## 施策24　景観の保全・形成

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標　1

**景観まちづくり協力店の認定件数（累計）（単位：件）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | | 30 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 町広報・回覧での景観計画・条例の制度紹介を始め、協力店の認定や、景観フェイスブックページ・インスタグラムでの広報等により、景観計画・条例の認知に努めた。 |
| 課題 | コロナ禍の影響もあり近年認定件数が伸び悩んでいる状況であるが、認定要件を満たす店舗が少ないため、制度の見直しが必要である。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 町民等のさらなる景観意識の啓発や情報提供を行うため、SNS等を積極的に活用し、利用者の増進を図り、住民や事業者等の意識高揚を図っていく。 |
| 取組効果 | 景観形成に積極的に取り組んでいる店舗を景観まちづくり認定店に認定し、住民や事業者等の意識高揚を図り、景観の保全形成に寄与した。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標４　環境にやさしく、安全・安心なまちづくり

## 施策25　防災対策の推進

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

#### 1　神奈川県西部地震の被害想定に基づく、避難者及び帰宅困難者のための食料備蓄率（単位：%）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | **100.0** | | 100.0 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 備蓄食料等の更新 |
| 課題 | 令和7年3月末公表の神奈川県地震被害想定調査結果で、神奈川県西部地震での箱根町の帰宅困難者数が大幅に増加したことから、帰宅困難者向けの備蓄のあり方を整理する必要が生じている。 |
| R7-R8 取組予定 | 備蓄食料等の更新 |
| 取組効果 | 施策の根幹となる取組であり、防災対策の推進に寄与した。 |

#### 2　防災講演、出前出張講座等の依頼数に対する講演会等の実施回数（単位：回）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | 0 | 20 | 22 | 2 | **6** | | 5 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 自主防災意識の啓発と講演会等の実施 |
| 課題 | 防災訓練等以外での、町民からの防災講演等のニーズ喚起 |
| R7-R8 取組予定 | 依頼に対する講演会等の実施 |
| 取組効果 | 町民等の防災意識啓発が図れ、防災対策の推進に寄与した。 |

#### 3　木造住宅耐震診断費に対する年間助成件数（単位：件）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | 0 | 1 | 2 | 1 | **2** | | 5 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 補助制度や耐震化の重要性について、所有者へのダイレクトメールのほか、町広報や町ホームページにより広報啓発活動を行った。 |
| 課題 | 高齢世帯の増加や経済的余裕がないことから耐震化が進みにくい傾向がある。 |
| R7-R8 取組予定 | 各地域ごとに無料耐震相談会を開催しているが、高齢世帯も多いことから個別訪問を積極的・柔軟に対応し、耐震診断に結び付けていく。 |
| 取組効果 | 町民自らが所有し、居住する木造住宅の耐震診断等に要する費用に対し補助を行い、地震に強いまちづくりの推進を図った。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標４　環境にやさしく、安全・安心なまちづくり

## 施策26　消防・救急対策の充実

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

**1　応急手当の普及啓発受講者数（単位：人）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 602 | 7 | 121 | 408 | 816 | 553 | | 750 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | まちだよりでの広報活動やポスターの掲示、警防出向の際に応急手当の普及講習受講の宣伝をすることにより、普通救命講習の受講者の増員を図った。 |
| 課題 | コロナ禍や大規模災害等の影響により目標を下回ったが、今後も継続的な広報活動を行うことで、目標値の達成が見込まれる。 |
| R7-R8 取組予定 | 広報活動による新たな普通救命講習の受講者の増員と、3年毎の受講を促すことによって、安定した受講者数の確保に努めたい。 |
| 取組効果 | 広報活動を実施した結果、応急手当に全く関心を抱いていない方に興味を持っていただくことができた。 |

**2　消防団員数（単位：人）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 327 | 325 | 309 | 306 | 317 | 326 | | 370 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 入団募集の広報等を継続し、特に令和４年度に創設した機能別消防団員制度の推進と女性消防団員の入団を促進した。 |
| 課題 | 退団者の増加により団員数が減少したため、団員のモチベーションの維持・向上が課題である。 |
| R7-R8 取組予定 | 広報媒体を活用した広報をはじめ、箱根町消防団協力事業所表示制度やはこね消防団応援の店制度の周知など、各種取組みにより新規入団者を確保する。 |
| 取組効果 | 各種取組みは一定数の新規入団につながった。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標４　環境にやさしく、安全・安心なまちづくり

## 施策27　交通安全・防犯の充実

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

**1　町立小学校及び認定こども園・幼稚園・保育所での交通安全教室開催回数（単位：回）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | | 7 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 町立小学校及び認定こども園・幼稚園・保育所の全校、全園にて交通安全教室を実施した。 |
| 課題 | 特になし |
| R7-R8 取組予定 | 引き続き、同様に取り組む。 |
| 取組効果 | 児童、園児の交通安全意識の向上が図られた。 |

**2　町内高齢者（65歳以上）へのドライビングスクールの参加者数（単位：人）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 15 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | | 15 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 令和５年度は小田原警察と共に、小田原自動車学校の協力を経てドライビングスクールを実施した。 |
| 課題 | 老人クラブに声掛けをし、参加者を募ったが希望者が少なかった。また町の意向だけでは実施ができないのが課題である。 |
| R7-R8 取組予定 | 小田原警察と実施に向けて調整する。 |
| 取組効果 | 参加した高齢者の安全運転に対する意識向上が図られた。 |

**3　消費生活に関する相談件数（単位：件）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 44 | 53 | 31 | 41 | 40 | 39 | | 50 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | チラシの配架や複数広報媒体での周知を行った。 |
| 課題 | 相談件数が少ない方が取組としては効果があると考える。 |
| R7-R8 取組予定 | 引き続き、同様に取り組む。 |
| 取組効果 | 複数広報媒体で町民へ消費生活被害の啓発を行い、被害の防止をにつなげることができた。 |

| 目標指標 | 4 | 交通安全施設の重点点検（単位：件） | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
| | | 0 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | | 2 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 学校や関係機関などと連携し、通学路における交通安全施設の現地調査を実施した。また、町内幹線道路の横断歩道点検を行い、小田原警察署に情報提供や補修依頼を行った。 |
| 課題 | 特になし |
| R7-R8<br>取組予定 | 引き続き、同様に取り組む。 |
| 取組効果 | 通学路や幹線道路等の安全設備の点検・更新により、町民と観光客の安全が守られた。 |

| その他 | 5 | 死亡事故発生件数（単位：人） | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
| | | 0 | 3 | 3 | 1 | 0 | 1 | | |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 交通安全運動期間に合わせ街頭キャンペーンや各種広報等を活用し、町民だけでなく観光客等への交通安全意識の徹底を図った。 |
| 課題 | 観光客が多い土地柄、継続的な啓発や交通安全施設の点検だけでは限界がある。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 引き続き、同様に取り組む。 |
| 取組効果 | 町民の交通安全意識が向上した。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標５　癒しと文化を提供する観光産業づくり

## 施策28　観光資源の開発と活用

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標　1

**観光協会ホームページのアクセス数（単位：万回）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 296 | 219 | 265 | 297 | 343 | 354 | | 300 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 町作成の観光パンフレットへURLの掲載をし観光展等での配布、電話等での観光案内をする際に積極的に当ホームページの案内を行いアクセス数の促進を図った。 |
| 課題 | 町のホームページではなく、観光協会のホームページが箱根の観光案内の場であることに対しての認知度向上が必要である。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 既に目標は達成しており令和2年度以降上り調子であるため、引き続き同内容の取り組みで当ホームページのアクセス数の促進を図っていく。 |
| 取組効果 | 現在箱根の主な観光情報を発信している協会のホームページを積極的に紹介することで、新たな人気スポットの発見等につながった。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

**基本目標５　癒しと文化を提供する観光産業づくり**

## 施策29　観光拠点整備と魅力向上

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

**1　森のふれあい館の入館者数（単位：人）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 14,208 | 11,428 | 14,014 | 15,178 | 13,559 | **14,834** | | 18,000 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 近年増加している、インバウンド層の獲得を目指して館内パンフレットや案内板の英訳を進めた。<br>閑散期である冬に、新たな顧客獲得を目的として新イベント「苔テラリウム作り」を行った。<br>館内トイレとやすらぎの森内のトイレの洋便器化や温水洗浄便座化を進め、来場者の快適性の向上に努めた。 |
| 課題 | 経年劣化により、修理が必要な個所が年々増加している。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 修繕に関しては優先順位を定め、計画的に修繕していく。 |
| 取組効果 | 取組に対して、一定程度の効果及び成果が見受けられた。目標値についても例年に比べ大きく減少することが無かった。 |

**2　箱根ジオミュージアムの入館者数（単位：人）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 56,780 | 68,735 | 81,724 | 123,648 | 153,763 | **169,116** | | 153,000 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 開館10周年を迎えることから、展示解説書の作成、新規展示物の製作、記念ツアー等を実施した。 |
| 課題 | R5年度で目標を達成した一方、天候等により入館者数が左右される。 |
| R7-R8<br>取組予定 | R5年度時点で目標を達成していることから、現在の取り組みを継続していく必要がある。 |
| 取組効果 | 国内外を問わず多くの観光客に箱根の様々な魅力を紹介できた。 |

**3　箱根湿生花園の入館者数（単位：人）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 78,369 | 52,823 | 59,751 | 65,925 | 55,620 | **50,080** | | 92,000 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 近隣の観光施設、宿泊施設や旅行会社等への営業活動や箱根湯本駅や強羅駅にデジタルサイネージへの広告掲載をするなど、誘客宣伝に努めた。また、令和7年3月からデジタルマップガイドシステム「箱根湿生花園ガーデンナビ」を導入した。 |
| 課題 | 雨や強風、猛暑などの天候により入園者が左右されてしまう。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 箱根湿生花園ガーデンナビを運用し、園内展示案内の充実を図っていく。<br>また、令和8年には開園50周年を迎えるため、イベント等を実施し、集客へ繋げていくもの。 |
| 取組効果 | 入館者数は減っているものの、旅行会社等への営業により、コロナ禍で減った団体客が戻ってくるようになり、取り組みの効果を感じている。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標５　癒しと文化を提供する観光産業づくり

## 施策30　多様な観光資源を活用した誘客と受入態勢の整備

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

#### 1　年間入込観光客数（単位：千人）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 18,960 | 12,570 | 13,500 | 17,360 | 19,510 | **20,310** | | 20,000 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 各種媒体により、あらゆる視点から定期的かつ連続的に観光情報の提供・宣伝・広告掲載等を行い、町への誘客を図った。また、町内で開催されたイベント等に対し補助金を支出した。 |
| 課題 | 時代のニーズに合った広告宣伝の方法 |
| R7-R8<br>取組予定 | はこね親善大使を活用したPR、箱根八里の観点からのPRの実施<br>町内で開催されるイベント等の補助金の支出 |
| 取組効果 | はこね親善大使を活用したPRを行うことで、Z世代に箱根の魅力を伝えることができた。<br>様々な視点からのPRを行うことで、幅広い層の誘客を図れた。 |

#### 2　観光産業融資利子補給事業の利用件数（単位：件）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | **0** | | 10 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 融資制度の廃止により未実施 |
| 課題 | 融資制度の廃止により未実施 |
| R7-R8<br>取組予定 | 融資制度の廃止により未実施 |
| 取組効果 | 融資制度の廃止により未実施 |

#### 3　外国人宿泊観光客数（単位：人）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 576,183 | 40,038 | 4,028 | 41,564 | 343,826 | **492,667** | | 400,000 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | インフルエンサーFAMトリップ、海外でのセールスプロモーションの実施、the japantimesの掲載、多言語のパンフレットの作成等を行った。 |
| 課題 | 時代のニーズに合った広告宣伝の方法 |
| R7-R8<br>取組予定 | 海外でのセールスプロモーションの実施、the japantimesの掲載、多言語のパンフレットの作成 |
| 取組効果 | タビマエ、タビナカの箱根観光に役立ててもらうなど、国際的な受け入れ体制を整えることで、インバウンドの獲得につながった。 |

| 目標指標 | 4 | 箱根DMO公認観光ガイド育成（累計）（単位：人） |
|---|---|---|

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| - | 0 | 0 | 48 | 71 | 71 | | 60 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 令和4、5年度において箱根DMO支援事業としてガイド戦略構築へ補助金を出すことで、認定に向けた講習や公認ガイドのスキルアップ等を図った。補助金を使用してのサステナブルツーリズムの取組終了に伴い令和6年度からはガイドの認定については事業廃止。 |
| 課題 | 公認観光ガイドの育成が行われたことにより、どんな効果が生まれたのかの検証や可視化をすることが難しい。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 公認観光ガイドの認定については、令和4、5年度で第1～3期生のみで終了しているため、今後は再認定に向けてどんな方法をとっていくのか、スキルアップに向けてできることはないか検討していくとのこと。町としては令和6年度以降は当該事業への補助金の支出はないため、協力できることを検討していく。 |
| 取組効果 | 国内外問わず幅広い顧客に対して箱根で快適な観光をしてもらうために、ガイドを育成する講習会等を開催したことで観光客の受入態勢の整備ができた。 |

| その他 | 1 | 中小企業等設備投資促進事業の利用件数（単位：件） |
|---|---|---|

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| - | - | - | 3 | 15 | 0 | | |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | R6融資制度廃止 |
| 課題 | R6融資制度廃止 |
| R7-R8<br>取組予定 | R6融資制度廃止 |
| 取組効果 | R6融資制度廃止 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標５　癒しと文化を提供する観光産業づくり

## 施策31　箱根ジオパークの推進

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

**目標指標**

**1　箱根ジオパークサポーター登録者数（累計）（単位：人）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 36 | 40 | 48 | 58 | 64 | 78 | | 100 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 多くの地域住民の参画を得るため、箱根ジオパーク内外の多様な団体と協力し、箱根火山と掛け合わせた様々な分野の講座や活動を幅広く開催した。Ex:金時山での登山道補修体験、秦野市での地層観察講座、真鶴町での海洋環境学習講座。 |
| 課題 | 登録者数は増加しているものの、サポーターの定義がされていないことから、イベント運営協力の募集の際、手を挙げるサポーターは固定メンバーとなっており、新規登録者のジオパーク活動への参画意識の醸成にまでは繋がっていない。 |
| R7-R8 取組予定 | サポーターの定義や活動内容をサポーターと検討する活動を実施する。 |
| 取組効果 | 地域内外の箱根火山に関する地質遺産の保全を行った他、環境問題や地域産業などについての理解促進にも寄与し、持続可能な地域づくりにも繋がった。 |

**2　箱根ジオミュージアム入館者アンケートにおける箱根ジオパークの認知度（単位：%）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 22.5 | - | - | - | 20.2 | 25.0 | | 80.0 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 箱根ジオパークの拠点施設として、来館者が楽しく箱根火山について学べるよう常設展示を充実させたほか、全国のジオパークのパンフレットを配布するコーナーを設けた。 |
| 課題 | 入館者の多くが箱根ジオミュージアムの入館が初めてであることから、認知度については低くなっているものと考えられる。入館者が展示等を通して箱根ジオパークを認知することはあっても、全国的に「ジオパーク」自体の認知度が低いことから、ジオパークを目的とした入館者はごく少ないため、認知度を向上させることが難しい。 |
| R7-R8 取組予定 | 引き続き、他機関と協力し、箱根火山及び箱根ジオパークへの理解促進となる展示・イベントを実施していく。 |
| 取組効果 | 箱根ジオパークの地域資源を知ってもらうだけでなく、環境問題や保全などについての理解促進にも寄与し、持続可能な地域づくりにも繋がったと期待できる。 |

**その他**

**1　箱根ジオミュージアム来館者数（単位：人）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 56,780 | 68,735 | 81,724 | 123,648 | 153,763 | 169,116 | | |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | R6年度で開館10周年を迎えることから、館内の展示物を新規作成した他、展示解説書の作成、無料開館、バスツアー、火山実験イベントを実施した。 |
| 課題 | 特になし |
| R7-R8 取組予定 | 箱根ジオミュージアムの来館者の半数が初めての箱根町の来町者であることから、再来訪へ繋げる取組みを行う。 |
| 取組効果 | 開館10周年記念イベントの実施により、箱根火山の魅力を多くの方に広める機会となった。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

## 基本目標５　癒しと文化を提供する観光産業づくり
## 施策32　伝統産業や観光行事の振興

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

**1　畑宿寄木会館来館者数（単位：千人）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9,947 | 4,549 | 7,422 | 9,695 | 10,955 | **12,082** | | 13,000 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | ホームページ等で寄木細工の情報発信をするほか、会館内での箱根寄木細工の販売、製作体験等を行い、来館者数の増を図った。 |
| 課題 | 寄木会館だけで考えるのではなく、畑宿地域の全体での活性化が必要である。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 伝統的工芸品に関するEXPO等でPRを行うなど、周知を図る。 |
| 取組効果 | 箱根寄木細工の魅力を製作体験などを通して肌身で感じられ、更なる振興と発展に寄与した。 |

**2　寄木細工専用ホームページアクセス数（単位：回）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| - | 0 | 0 | 93,166 | 124,305 | **131,829** | | 100,000 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 箱根寄木細工に関するHPへの案内や情報更新、パンフレットへのQRコード追加　など |
| 課題 | 特になし |
| R7-R8<br>取組予定 | ホームページの情報更新（随時）等を行い、アクセス数の増につなげる。 |
| 取組効果 | 箱根寄木細工に興味がある人への案内などに活用し、振興と認知向上に貢献した。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標６　行政の効率的運営と官民協働体制の強化

## 施策33　協働のまちづくりの推進

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

1

**活力あるまちづくり新規補助件数（単位：団体）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 1 | 0 | 4 | 1 | 1 | | 3 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | ホームページや回覧等、複数広報媒体で本補助金の周知を行った。 |
| 課題 | 本補助金が必要な団体に、制度が伝わっていないことが課題である。 |
| R7-R8 取組予定 | コミュニティ団体スタートアップ講座を開始するほか、口座の参加者に直接制度内容を案内し、団体の立ち上げや事業運営に本制度の活用を促す。 |
| 取組効果 | 町民のコミュニティ活動の活性化につなげることができた。 |

2

**町政モニター延べ回答者数（単位：人）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 31 | 127 | 164 | 110 | 100 | 55 | | 240 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 広報やホームページで周知及び登録勧奨を行った。 |
| 課題 | 新規登録者が伸び悩んでいるほか、実際の回答者数が少ない状況である。 |
| R7-R8 取組予定 | 広聴機能の拡充のため町政モニター制度を廃止し、LINEアンケートに切替実施していく。 |
| 取組効果 | 回答は少数に留まったが、町民の意見聴取を通して協働のまちづくりに寄与することができた。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標６　行政の効率的運営と官民協働体制の強化

## 施策34　計画的な行財政運営

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

1

**行財政改革アクションプランの進捗率（単位：%）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 33 | 29 | 37 | 37 | 31 | 35 | | 100 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 第１期プラン（～R4）の総括を踏まえ、第２期プラン（R5～R9）を策定するとともに、毎年度、取組状況評価を行い、各種推進項目の着実な進捗を図った。 |
| 課題 | 物価高騰の影響等により、期待した効果が得られにくい取組みもあった。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 進捗に遅れが見られる項目を中心に、取組状況評価で把握した今後の課題等を踏まえ、取組内容の改善やさらなる行財政改革の推進に取り組む。 |
| 取組効果 | 進捗状況を確認し、改善する過程で計画的な行財政運営に一定の効果があったと考える。 |

2

**町税徴収率（３か年平均）（単位：%）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 94.87 | 93.89 | 93.77 | 93.80 | 94.98 | 95.23 | | 95.20 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 滞納者宅を捜索し、インターネット公売や不動産共同公売を実施した。また、預金・給与等の差押を行い、滞納整理を強化した。さらに、県職員OBの雇用を継続し、徴収スキルの向上を図った。 |
| 課題 | 特になし |
| R7-R8<br>取組予定 | 令和6年度では目標値を上回ることができたが、今後も徴収率の向上に向け滞納整理を強化していく。 |
| 取組効果 | 徴収率向上により町税確保に寄与した。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標６　行政の効率的運営と官民協働体制の強化

## 施策35　ＳＤＧｓの推進

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

1

**町民のSDGs認知度の向上（単位：%）**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 40 | - | - | - | - | - | | 80 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 町の基本方針や行政・町民・事業者・観光客の具体的な取組みを明確にした「箱根町SDGｓ推進計画」を令和５年度に策定し、広報等やホームページを用いてSDGsの特集や町や事業者の取り組みの紹介、また小学生に対してSDGsの授業を行い、広く意識醸成を図ったもの。 |
| 課題 | 計画に基づき、認知度を含めた17のゴールの2030年（R12）目標値を達成できるよう、行政・町民・事業者・観光客等の各個人の意識を醸成していかなければならない。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 継続して「箱根町SDGｓ推進計画」の周知に努め、行政・町民・事業者が一体となった取り組みを進めるとともに、パートナーシップ制度など事業者と連携した取り組みを進めていく。 |
| 取組効果 | 認知度調査においては総合計画に係る町民アンケート調査により実施しており、数字としては確認できていないものの、町の周知や各媒体が発信するSDGsのトレンドとしても、広がってきており、一定の効果が見込まれる。 |

2

**箱根町SDGs推進計画（仮称）の策定**

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| - | - | - | - | 策定済 | 策定済 | | 策定済 |

| | |
|---|---|
| R4-R6<br>取組内容 | 令和4年度から作成作業を進め、令和5年6月に計画を策定したもの。 |
| 課題 | 策定は完了したため、計画に基づき、認知度を含めた17のゴールの2030年（R12）目標値を達成できるよう、行政・町民・事業者・観光客等の各個人の意識を醸成していかなければならない。 |
| R7-R8<br>取組予定 | 継続して「箱根町SDGｓ推進計画」の周知に努め、行政・町民・事業者が一体となった取り組みを進めるとともに、パートナーシップ制度など事業者と連携した取り組みを進めていく。 |
| 取組効果 | 独自の計画を策定したことにより、町民、事業者の理解促進に効果があった。 |

# 【別冊】第６次総合計画施策別評価シート（目標指標）

基本目標６　行政の効率的運営と官民協働体制の強化

## 施策36　コロナ対策の推進

### 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析

目標指標

#### 1　新型コロナウイルス感染者数（単位：人）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| - | 24 | 315 | 1,493 | - | - | | 0 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 小田原保健福祉事務所より提供される町民の感染者数を把握し、ホームページで公表した。 |
| 課題 | 特になし |
| R7-R8 取組予定 | 新型コロナウイルス感染症が令和5年5月に５類感染症へと移行したことに伴い、感染者数の提供が終了したため、取組予定なし。 |
| 取組効果 | 特になし |

#### 2　クラスター発生数（単位：件）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| - | - | - | - | - | - | | 0 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 特になし |
| 課題 | クラスターの発生数については、施設からの情報提供のみのため、感染者数等を把握するのは困難である。 |
| R7-R8 取組予定 | 取組予定なし |
| 取組効果 | 特になし |

#### 3　避難所における新型コロナウイルス感染症新規感染者数（単位：人）

| 元年度(基準) | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(実績) | 6年度(実績) | 7年度(実績) | 8年度(目標) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| - | - | - | - | - | - | | 0 |

| | |
|---|---|
| R4-R6 取組内容 | 感染症対応避難所用物品の購入・備蓄を行った。 |
| 課題 | 特になし |
| R7-R8 取組予定 | 引き続き、感染症対応避難所用物品の更新・備蓄を行う。 |
| 取組効果 | 避難所における新型コロナウイルス感染症の感染拡大が防止できた。 |